



亀っ子だより

第38号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2021年4月8日

3学期にがんばったこと

3月24日（水）、修了式の後、各学年の代表が3学期にがんばったことを発表しました。以下が、その内容です。

○1年 水のはな

わたしが、一ばんこころにのこったことは、なわとびしゅうかいです。いつも生きのこれていまえとびサバイバルが、本ばんでは生きのこれなかったからとてもうれしい気持ちでした。そのあと、うしろとびサバイバルは、れんしゅうではうまくいかなかったけど、本ばんでは生きのこれてうれしかったです。もっとまえとびとうしろとびをれんしゅうしたいです。

○2年 天木 さくら

わたしは、2年生になって二重とびができるようになりました。2年生になったばかりの時、二重とびが、れんぞくでできなかったけど、2がっきでれんぞくでとべるようになりました。れんぞくでとべるようになったときは、うれしかったです。3年生になったら、三重とびをれんぞくでとべるようになりたいです。

○3年 谷口 さくら

わたしが3学期でがんばったことは、二つあります。一つ目は、そつ業をいわう会です。3年生は、リコーダーと歌を発表しました。すごくきんちょうしたけれど、リコーダーを上手にふけたし、歌も練習より上手に歌え、しっかりと6年生をおいおいできたと思います。二つ目は、はく物館見学です。中には、昔の道具がたくさんありました。わたしは、本物のかまどをはじめて見ました。アニメでは、たくさん見たことがありました。本物のかまどを見て、今はすいはんき一つで色々なことができるから、それを見たときは、昔の人は色々たいへんだったんだなと思いました。1学期や2学期よりも短かった3学期。もうすぐ4年生で高学年。今までよりももっとがんばりたいと思います。

○4年 武 心遥

私の4年生で一番の思い出は、4年生全員で空の科学館に行ってプラネタリウムを見たことです。どの星もととてもきれいだったけど、一番いんしょうに残ったのは「冬の大三角形」です。なぜかという、大三角形の中でシリウスという星があり、その星は青白く光り、とてもきれいだったからです。空の科学館では、地しん体験などいろんな体験をすることが出来てとても楽しく、勉強になりました。5年生でもいろんなことにきょうみをもって勉強をしたいです。

○5年 正岡 珠愛

私はこの3学期の野外活動について特に力を入れました。新型コロナウイルスで初めての野外活動がなくなってしまうかもしれないと思っていました。それでも、野外活動に行けると聞いた時、コロナ禍でも行けるからこそ最高の思い出にしようと思い、力を入れました。力を合わせてやるスタンプや運動会など声をかけ合ったり、助け合ったりした結果、最高の思い出になりました。がんばればがんばるほど「くい」は無いと学びました。野外活動は一生の思い出です。

※学年は、令和2年度のものです。

入学式 校長の話

みなさんは今日から、亀崎小学校の1年生です。みなさんの入学を先生方も、お兄さん、お姉さんたちも楽しみにしていました。これから亀崎小学校で、一生懸命に勉強したり、いっぱい遊んだりしてください。

1年生の皆さんに頑張ってもらいたいことがあります。それは、元気に挨拶することです。でも、挨拶するだけではいけません。挨拶する相手よりも先に挨拶をしましょう。朝起きたら、お家の
人より先に元気よく「おはようございます」と言いましょう。学校で担任の先生を見つけたら、
先生よりも先に元気よく「おはようございます」と言いましょう。教室で友達を見つけたら、友
達よりも先に元気よく「おはようございます」と言いましょう。校長先生も負けてはいません。
みなさんを見つけたら、みなさんより先に「おはようございます」と元気よく言います。校長先
生より先に「おはようございます」が言えたら、校長先生の負けです。頑張ってください。でも、
校長先生も負けませんからね。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。ただ今より6年間、大切なお子
さんを責任をもって預かります。分からないこと、不安なことがありましたらすぐに担任に
連絡をしてください。ご家庭と学校とが力を合わせて、子どもたちのために教育活動を進めてい
きたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温と健康観察を
お願いしています。詳しくは、教室で担任より説明があります。子どもとご家族を守るために、ご
協力をお願いします。ご家庭での「おはようございます」も子どもたちと一緒にがんばってくだ
さい。そして、入学説明会でお願いした「抱っこ」の宿題も、毎日お願いします。きっと、子ど
もたちは、元気に登校できるものと思っています。

さあ、1年生の皆さん、今日から亀崎小学校のスタートです。勉強に運動に力いっぱい頑張り
ましょう。

令和3年度1学期始業式 校長の話

いよいよ、令和3年度がスタートします。学年が一つ上がるにあたり、みなさんは、いろい
ろなことに胸ふくらませていることと思います。勉強を頑張ろう、友だちをたくさん作ろう、運動
会の徒競走で1等を取ろう、児童会や委員会、学級の係を頑張ろう、習い事を頑張ろう、……。
きっといろいろなことを考えていることと思います。その胸ふくらませていることを大切に1年
を過ごしてください。

胸ふくらませていることに近づく良い方法を伝えます。それは、小さな努力を毎日続けること
です。家に帰ったら真っ先に宿題をする。朝、必ず友達3人に「おはよう」と言う。毎日、放課
に運動場のトラックを全速力で1周する。児童会や委員会、学級の係の仕事を忘れないように連
絡帳に書き、毎朝必ず見る。習い事に休まずに行く。ほんの小さな努力を続けることで、1年後
には、とても大きな成長をとげた自分があるはずです。続けられる才能が、一番の強い才能だと
私は思っています。目標をもち、この1年間を充実したものにしてください。

♣ 子育てアラカルト ♣

【誰が決める？】

【エピソード】

永 六輔氏にこんな話がある。

氏は、たばこは吸わない。しかし、「禁煙席」は嫌いだと言う。「禁じる」という言
葉が大嫌いだからだそう。

JR のトイレに入った。JR にはきれいなトイレだと思った。そこにあった張り
紙のおかげか。普通は「汚さないでください」と書く。ところがそこには「きれいに
使っていただいて、ありがとうございました」と書いてあった。肯定の言葉には「予
想外」の効果がある。

【心に刻む言葉】 人は自分で決めたことに責任をもつ

【心に刻む言葉】 どんな能力があるかよりも
どんな選択をしたかのほうがはるかに重要！

（ある教育者のひとり言 より）